

YAMAHA MIXING CONSOLE AG03 取扱説明書

ZN42680 JA 保証書付

ごあいさつ

このたびは、ヤマハミキシングコンソールAG03をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。AG03のさまざまな機能を十分に活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管いただきますようお願いいたします。本書では、ミキシングコンソールを「ミキサー」と呼びます。

特長

- インターネット配信に適したオーディオインターフェイス付き3チャンネルミキサー
- 最大24ビット192kHzに対応したオーディオインターフェイス機能を搭載。
- インターネット配信に便利なループバック機能(コンピューターからの音とミキサーに入力された音をミックスして、コンピューターに戻す機能)を搭載。
- 高音質を実現するヤマハプレミアムヘッドアンプ「D-PRE」を搭載。

付属品(お確かめください)

- USBケーブル(1.5m)
- Technical Specifications(英語):一般仕様、入出力仕様、ブロック図、寸法図、端子とプラグ一覧が記載されています。
- CUBASE AI DOWNLOAD INFORMATION: Steinberg DAWソフトウェア「Cubase AI」をダウンロードする際に必要なアクセスコードが記載されています。
- 取扱説明書(本書):保証書は裏面にあります。

クイックスタートガイド

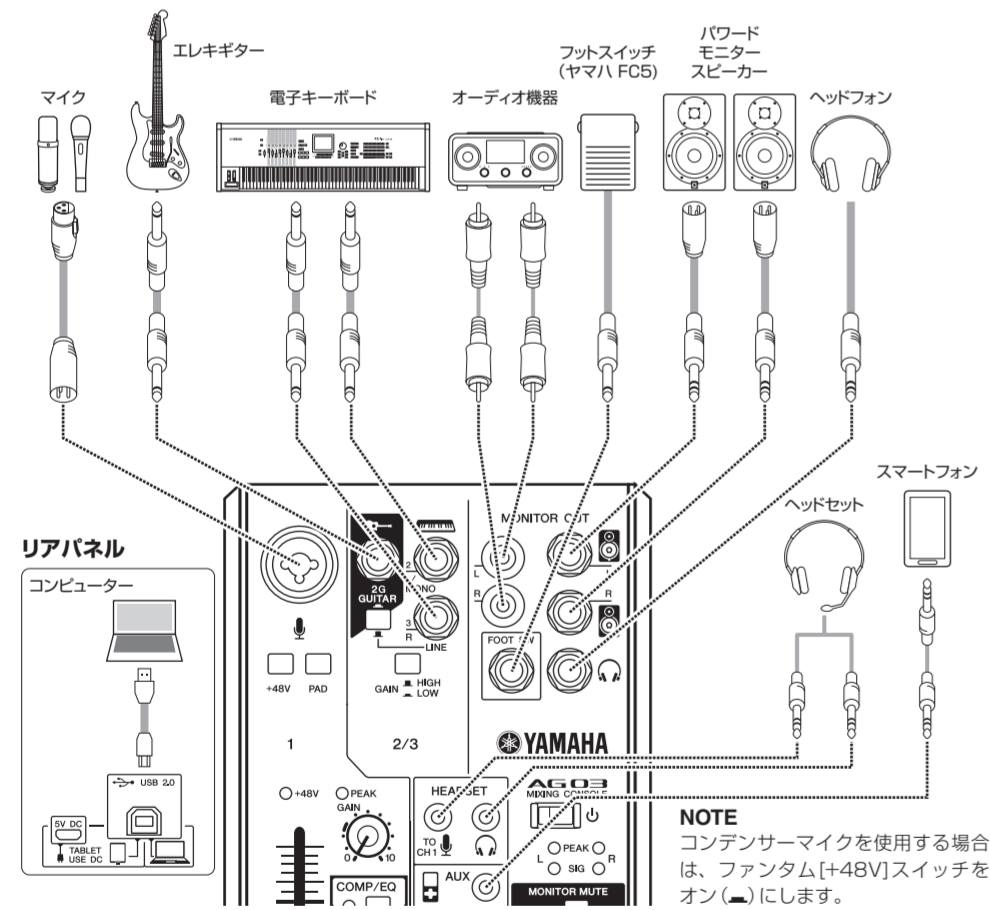
事前準備:ドライバーをダウンロードし、インストールする

コンピューターからの入出力には、専用のUSBドライバー「Yamaha Steinberg USB Driver」が必要な場合があります。ドライバーのダウンロード、インストール手順、および設定方法については、下記のヤマハウェブサイトをご覧ください。
<http://www.yamahaproaudio.com/ag/>

STEP 1 スピーカー、マイク、楽器などを接続する

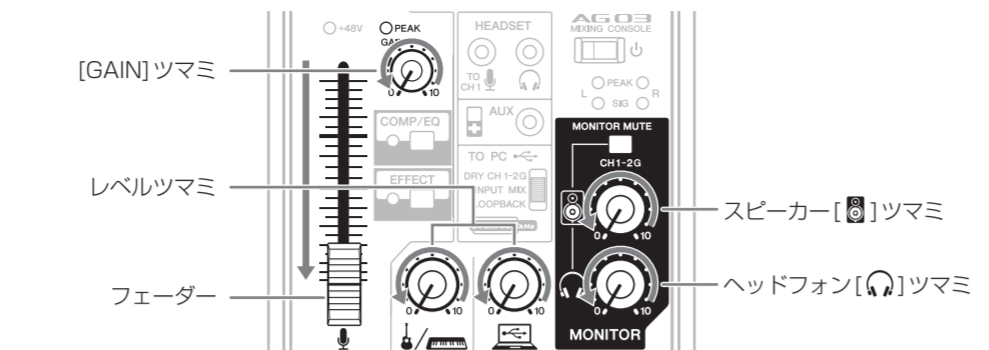
- 1 スピーカー、楽器など、本体に接続するすべての機器の電源をオフにします。
- 2 下記の接続例を参考にして、スピーカー、マイク、楽器などを接続します。

接続例



STEP 2 スピーカーやヘッドフォンから音を出す

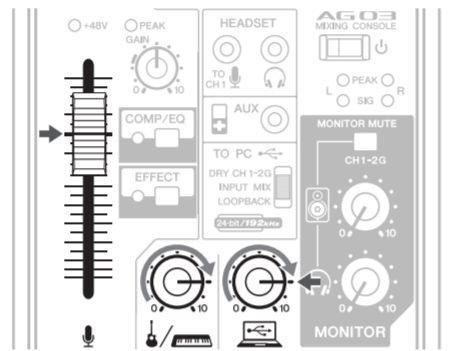
- 1 本体の[ON] (スタンバイ/オン)スイッチを含む、すべてのスイッチが押されていないこと(■)を確認します。
- 2 付属のUSBケーブルを使って、コンピューターと本体を接続します。本体背面(リアパネル)の[USB 2.0]端子のご使用にあたっては、注記の「[USB 2.0]端子、[5V DC]端子ご使用時の注意」をご覧ください。タブレット機器など、本体に電源が供給できない機器と接続する場合は、市販のUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリーなどを[5V DC]端子(マイクロB)に接続してください。
- 3 フェーダーとすべてのツマミ([GAIN]ツマミ、レベルツマミ、スピーカー[]ツマミ、ヘッドフォン[]ツマミ)を最小にします。(最小…フェーダーは一番下まで下げる。ツマミは左に回しきる。)



- 4 パワードモニタースピーカーの音量が最小に設定されていることを確認します。
- 5 楽器、オーディオ機器 ➡ 本体の[ON]スイッチ ➡ パワードモニタースピーカーの順に電源をオンにします。
注記 スピーカーから大きなノイズが出ないようにするため、上記の順に電源を入れてください。電源をオフにするときは、逆の手順で行なってください。
- 6 チャンネル1にマイクや楽器を接続した場合、[GAIN]ツマミを12時の位置に合わせます。



- 7 フェーダーを太線の位置、レベルツマミを3時の位置に合わせます。



- 8 スピーカー[]ツマミ、ヘッドフォン[]ツマミを12時の位置に合わせます。
- 9 マイク、楽器、オーディオ機器で音を出しながら、パワードモニタースピーカーの音量を調節します。
- 10 音が出ない場合や、音量を調節したい場合は、以下の枠内の操作を行ないます。以下の操作を行なっても音が出ないときは、裏面の「困ったときは？」のチェック項目を確認してください。

■ 音が出ない、音量を大きくしたい

- 1 マイクや楽器で音を出しながら、[PEAK]LEDが一瞬点灯する程度まで[GAIN]ツマミを右に回します。
NOTE ・マイクを使用する際は、十分な音量を得るために、マイクをできるだけ近づけてご使用ください。
 ・[GAIN]ツマミを右に回しても[PEAK]LEDが点灯しない場合は、楽器などの音源の音量を上げてください。

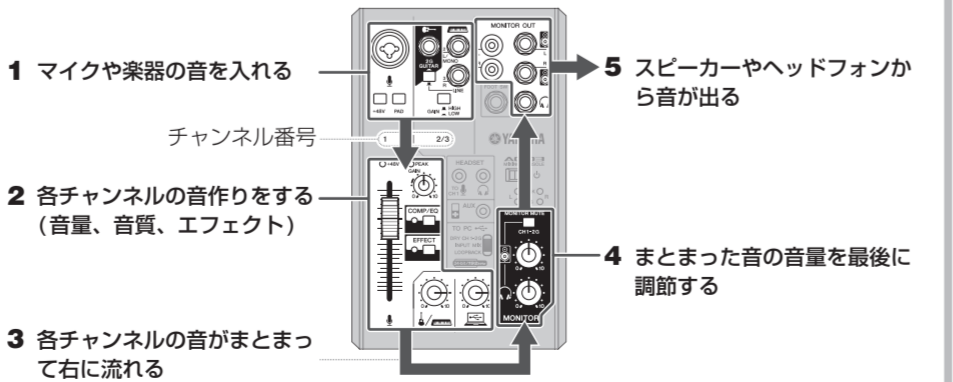
上記の手順で音が出ない、または音量が大きくなりすぎない場合

- 2 [PAD]スイッチや[GAIN]スイッチがオン(■)になっている場合は、フェーダーやレベルツマミを最小にしてからオフ(■)にします。
- 3 フェーダーやレベルツマミを徐々に動かして音量を調節します。

■ 音量を小さくしたい

- 1 フェーダーやレベルツマミを最小にしてから、音量を小さくしたいチャンネルの[PAD]スイッチまたは[GAIN]スイッチをオン(■)にします。
 - 2 フェーダーやレベルツマミを徐々に動かして音量を調節します。
- 上記の手順で音量が小さくなりすぎない場合
- 3 楽器やオーディオ機器の音量を下げます。

ミキサーの基本:音の流れ



各部の名称と機能

3 [マイク/ライン]入力端子

マイク、楽器、オーディオ機器を接続します。XLR、フォンの両プラグに対応しています。



4 ギター[]入力端子(チャンネル2G)

エレキギターやエレキベースなどを接続します。フォンプラグに対応しています。[GUITAR/LINE]切り替えスイッチ(6)がオフ(■)のときは、動作しません。

5 [GUITAR/LINE]切り替えスイッチ

チャンネル2の入力を切り替えます。エレキギターやエレキベースなど出力インピーダンスの高い楽器を、ギター[]入力端子(4)に直接接続するときはオン(■)にします。ラインレベルの機器をライン[]入力端子(6)に接続するときはオフ(■)にします。このスイッチをオンにするときは、楽器と本体をアンバランスのフーンケーブルで接続してください。バランスのケーブルで接続した場合、正常に動作しません。

▲注意

スイッチを切り替えるときは、スピーカー[]ツマミ(8)、ヘッドフォン[]ツマミ(8)などの出力コントロールは、すべて最小[0]にしてください。大音量が出て、聴力障害または外部機器の損傷になることがあります。

6 ライン[]入力端子

電子キーボードやオーディオ機器などのラインレベルの機器を接続します。チャンネル2の[L/MONO]端子はモノラル出力の機器を接続するときに使用します。このとき、[L/MONO]端子に入力された音は、ミキサー出力のLチャンネルだけではなくRチャンネルからも出力されます。[GUITAR/LINE]切り替えスイッチ(5)がオン(■)のときは、動作しません。

7 [GAIN]スイッチ

チャンネル2/3の基本となる音量を決めます。音が歪む場合は、オン(■)にしてください。

NOTE スwitchを切り替えるときは、ノイズが出る場合がありますので、レベルツマミを最小にしてから切り替えてください。

8 ファンタム[+48V]スイッチ/[+48V]LED

スイッチをオン(■)にする[+48V]LEDが点灯し、マイク/ライン入力端子(8)のXLRプラグにDC+48Vのファンタム電源が供給されます。コンデンサーマイクを使用するときは、このスイッチをオンにしてください。

注記

- ファンタム電源が不要な場合、スイッチをオフ(■)にしてください。ファンタム電源をオン(■)にする場合、本体や外部機器の故障、ノイズを防ぐために、次の内容にご注意ください。
- チャンネル1にファンタム電源非対応の機器を接続するときは、スイッチをオフ(■)にする。
- スイッチをオン(■)にしたまま、チャンネル1でケーブルの抜き差しをしない。
- ファンタム電源のオン(■)/オフ(■)は、チャンネル1のフェーダーを最小にした状態で行なう。

9 [PAD]スイッチ

オン(■)にする、チャンネル1に入力した音が減衰されます。[GAIN]ツマミ(8)を左に回しきっても音が重なり頻りに[PEAK]LED(9)が点灯する場合は、オン(■)にしてください。

NOTE スwitchを切り替えるときは、ノイズが出る場合がありますので、フェーダーを最小にしてから切り替えてください。

10 [PEAK]LED

入力音が大きすぎる場合に点灯します。点灯したら[GAIN]ツマミ(8)を左に回して音量を下げてください。

11 [GAIN]ツマミ

チャンネル1の基本となる音量を決めます。強く歌ったときや強く弾いたときに、[PEAK]LED(9)が一瞬点灯する程度にツマミを調節します。

12 [COMP/EQ]ボタン*

コンプレッサーとイコライザーをオン(黄色に点灯)にします。初期設定ではあらかじめ不要な低域のノイズやボーカルのレベルのバラツキを抑え、インターネット配信に適したパラメーターがセットされています。

13 [EFFECT]ボタン*

チャンネル1のエフェクトをオン(黄色に点灯)します。初期設定ではあらかじめリバーブが設定されており、自然な広がりを得ることができます。

■ 音量調整のポイント

音量は、[PAD]スイッチ、[GAIN]ツマミ/[GAIN]スイッチ、フェーダー/レベルツマミを使って調節します。[PAD]スイッチ、[GAIN]ツマミ/[GAIN]スイッチは一度設定したらあまり触らず、通常、音量はフェーダー/レベルツマミを使って調節します。各機能について詳しくは「各部の名称と機能」をご覧ください。

1 [USB 2.0]端子

付属のUSB2.0ケーブルを使って、コンピューターに接続します。コンピューターを接続すると、本体に電源が供給され、本体とコンピューター間でオーディオデータの入出力ができます。コンピューターからの入出力には、専用のUSBドライバーが必要な場合があります。事前に下記のヤマハウェブサイトからダウンロードし、コンピューターにインストールしてお使いください。
<http://www.yamahaproaudio.com/ag/>

注記

[USB 2.0]端子には、パーソナルコンピューターやタブレット機器以外の機器を接続しないでください。

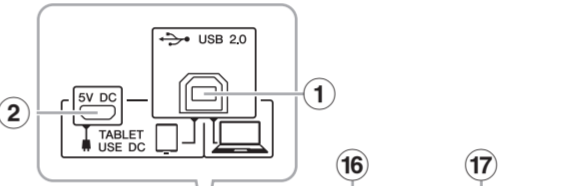
2 [5V DC]端子

市販のUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリーなどを接続します。タブレット機器など、本体に電源が供給できない機器と接続する場合は使用します。本製品にはUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリーは付属していません。

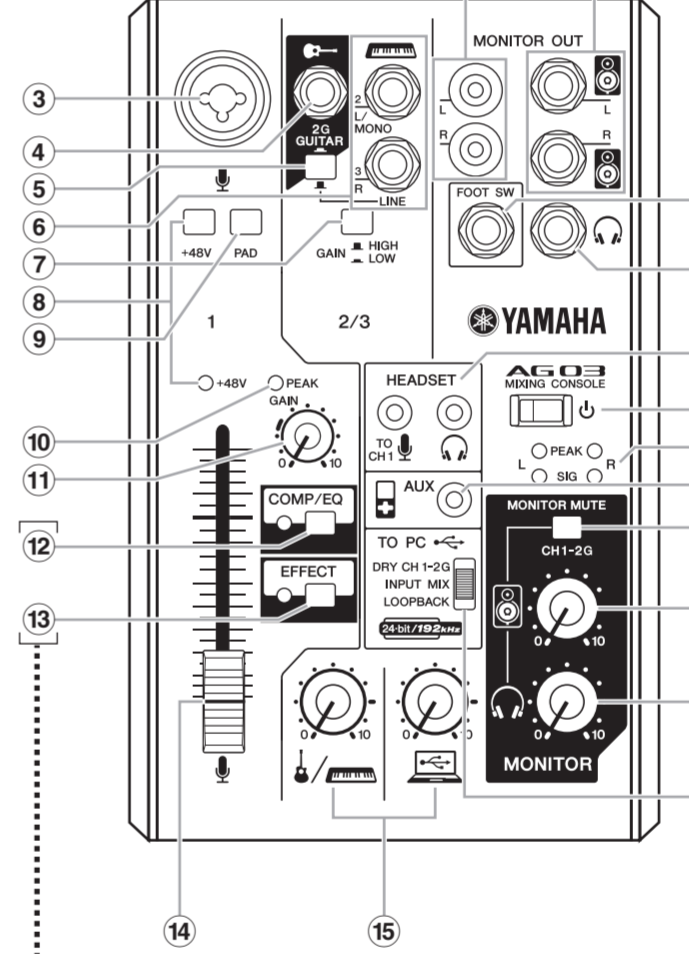
注記

- お使いになるUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリーの安全上のご注意をお読みください。
- USBマイクロBプラグで、USB規格に適合した電源供給ができるUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリーをお使いください。出力電圧:4.8V~5.2V 出力電流:0.5A以上

リアパネル



フロントパネル



*[COMP/EQ](12)、[EFFECT](13)は、専用アプリケーションを使って詳細設定ができます。詳しくは、下記のヤマハウェブサイトをご覧ください。
<http://www.yamahaproaudio.com/ag/>
■ (12)(13)を工場出荷時の設定に戻したい場合
 [COMP/EQ]ボタン(12)を押しながら[ON]スイッチ(11)をオン(■)にしてください。

14 フェーダー

15 レベルツマミ

各チャンネル間の音量バランスを調節します。
 : チャンネル1に接続されたマイクなどからの入力音を調節します。

: チャンネル2に接続されたギターや電子キーボードなどの入力音を調節します。

: [USB 2.0]端子から入力されるコンピューターからの入力音を調節します。

16 [MONITOR OUT]端子(RCAピンタイプ)

17 [MONITOR OUT]端子(フォンプラグ)

パワードモニタースピーカーなどを接続します。フォンプラグ(バランス/アンバランス)に対応しています。

18 [FOOT SW]端子

別売のフットスイッチ(ヤマハFC5など)を接続します。[EFFECT]ボタン(13)がオンに設定されているときに、足元でエフェクト音をミュート(消音)できます。エフェクト音がミュートされているときは[EFFECT]ボタンのLEDが点滅します。

19 ヘッドフォン[]出力端子

ヘッドフォンを接続します。ステレオフォンプラグに対応しています。ステレオミニプラグのヘッドフォンやイヤフォンを接続するときは、[HEADSET]ヘッドフォン出力端子(20)を使うこともできます。

20 [HEADSET]マイク[]入力端子

ヘッドセットのマイクプラグを接続します。通常はピンク色の端子です。ここから入力された音声はチャンネル1に入ります。

NOTE [HEADSET]マイク入力端子にマイクプラグが接続されると、チャンネル1のマイク/ライン入力端子(8)に接続された機器の音はカットされます。

[HEADSET]ヘッドフォン[]出力端子

ヘッドセットのヘッドフォンを接続します。通常は薄緑色のプラグです。ヘッドフォン[]出力端子(20)と同じ音が出力されます。

NOTE [HEADSET]ヘッドフォン[]出力端子にヘッドフォンプラグが接続されると、ヘッドフォン[]出力端子から出力される音はカットされます。

21 [ON] (スタンバイ/オン)スイッチ

電源のスタンバイ(■)/オン(■)を切り替えます。

注記

[ON]スイッチのスタンバイ/オンを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。[ON]スイッチをスタンバイにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

22 レベルメーター

コンピューターへ送る音の大きさが-10dBu以上になると[SIG] (緑色)が点灯し、クリップレベルの3dB手前(+7dBu)に達すると[PEAK] (赤色)が点灯します。適正な音量でコンピューターに音を送るには、[SIG]が点灯、[PEAK]は大きい音を入れたときに一瞬点灯するくらいに、各チャンネルの音量を調節してください。

23 [AUX]入力端子

予備の入力端子です。ステレオミニプラグに対応しています。スマートフォンなどを接続し、アプリケーションを使って効果音の音出しやBGMを再生できます。音量は、接続した機器側で調節してください。

24 [MONITOR MUTE]スイッチ

オン(■)にする、チャンネル1、2Gに入力された音が、[MONITOR OUT]端子(16)や、ヘッドフォン[]出力端子(20)、[HEADSET]ヘッドフォン[]出力端子(20)から出力されなくなります(ダイレクトモニタ=OFF)。

25 スピーカー[]ツマミ**

[MONITOR OUT]端子(16)に接続された機器に送る音量を調節します。

26 ヘッドフォン[]ツマミ**

ヘッドフォン[]出力端子(20)や[HEADSET]ヘッドフォン[]出力端子(20)に接続されたヘッドフォンの音量を調節します。

**スピーカー[]ツマミとヘッドフォン[]ツマミは、別々に調節できます。

27 [TO PC]スライドスイッチ

コンピューターへ送る音を選択します。

[DRY CH 1-2G]:

チャンネル1に入力された[GAIN]ツマミ調節後の音、チャンネル2Gに入力された[GAIN]スイッチ直後の音を直接コンピューターに送ります。送られる音はレベルツマミの影響を受けません。オーディオインターフェイスのように、チャンネル1、2Gに入力された音を別々に録音できます(ギターとボーカルなど)。

[INPUT MIX]:

本体に入力され、ステレオミックスされた音をコンピューターへ送ります。コンピューターからの入力音は送られません。

[LOOPBACK]:

本体に入力された音とコンピューターで再生した音がステレオミックスされたものを、コンピューターへ送ります。主にインターネット配信するときに使用します。

NOTE DAWソフトウェアを使用するときは、ハウリングを防ぐため、[DRY CH 1-2G]が[INPUT MIX]に設定してください。

